２０２０年5月２９日

於：書　面　開　催

かわさき水ビジネスネットワーク２０２０年度第１回幹事会　次第

１　参加者

【送付資料：かわさき水ビジネスネットワーク幹事会名簿】

２　報告について

【送付資料：２０２０年度第１回幹事会資料】

（１）２０１９年度（１１月～３月）の活動報告

（２）会員の入退会の報告

（３）２０２０年度の活動計画

（４）「かわさき水ビジネスネットワーク２０２０年度総会」について

３　意見等について

【送付資料：意見書】

４　その他

【参考送付資料：かわさき水ビジネスネットワーク会員・協力団体名簿、規約】

２０２０年５月２９日

かわさき水ビジネスネットワーク2020年度第１回幹事会　参加者名簿

会　社　名	所　属・役　職	氏　　　名
伊藤忠商事株式会社	都市環境・電力ｲﾝﾌﾗ部 都市環境ｲﾝﾌﾗ第一課　課長	かない　まさし 金井　将司
	都市環境・電力ｲﾝﾌﾗ部 都市環境ｲﾝﾌﾗ第一課	ほんまち　さおり 本町　彩織
川崎商工会議所	地域産業部　部長	むらまつ　たかのり 村松　孝則
	地域産業部国際課	くまざわ　あんな 熊澤　杏奈
ＪＦＥエンジニアリング株式会社	地域産業部兼中小企業振興部　部長	ふじさき　ひろゆき 藤崎　浩行
	環境本部　海外事業部　営業部　副部長	うすい　あきら 臼井　彰
東芝インフラシステムズ株式会社	水・環境システム第一部 海外営業担当 担当部長	よこやま　えいいち 横山　詠一
	関東水・環境システム営業部 営業第三担当 参事	たていし　としみつ 立石　智光
株式会社みずほ銀行	川崎第二部　副部長	あかまつ　じゅんこ 赤松　潤子
	川崎第二部　課長代理	あらい　ゆきのり 新井　幸典
	川崎第二部　担当	しおざわ　ともや 塩澤　智也
株式会社横浜銀行	地域産業部兼中小企業振興部　部長	屋代　哲朗
	川崎支店　法人渉外課	まつい　ひでき 松井　秀樹
川崎市	上下水道局経営管理部　部長	やまもと　しょうじ 山本　昇二

＜事務局＞

会　社　名	所　属・役　職	氏　　　名
川崎市	上下水道局経営管理部経営企画課担当課長	さかて　ひろし 坂手　博
	上下水道局経営管理部経営企画課担当係長	おち　りゅうた 越智　龍太
	上下水道局経営管理部経営企画課担当係長	なかむら　のりあき 中村　典昭
	上下水道局経営管理部経営企画課主任	やおたに　かずな 矢尾谷　和為

2020年度 第1回幹事会資料

2020年5月29日

かわさき水ビジネスネットワーク

KAWA·BIZ·NET
世界の水環境改善に向けて

１　2019年度（11月～3月）の活動報告について

２　会員の入退会の報告

３　 2020年度の活動計画について

４「かわさき水ビジネスネットワーク2020年度総会」について

１　2019年度（11月～3月）の活動報告について

（１）　モンゴル都市建設開発センターとのビジネスマッチングの開催

（２）　かわさき水・環境ビジネス海外展開セミナーの開催

（３）　会員への協力

（４）　会員への情報提供

（５）　海外への情報発信

（６）　その他

（1）モンゴル都市建設開発センターとのビジネスマッチングの開催

✓ かわビズネット会員とのビジネスマッチングを目的として、モンゴル都市建設開発センター（CDC）※ガンボルド副所長を団長とした調査団に対し、会員企業3社がプレゼンテーションを実施

日　程	2019年11月26日（火）
参加者	モンゴル都市建設開発センター調査団・18名 かわビズネット会員3団体・7名
場　所	入江崎水処理センター（川崎市川崎区塩浜3-17-1）
内　容	◇川崎市上下水道局の官民連携事業（かわビズネット）の紹介 ◇ビジネスマッチング≪会員企業によるプレゼンテーション・質疑応答≫ ①日本スレッド株式会社 ②株式会社建設技研インターナショナル ③前澤工業株式会社 ◇施設視察 広報施設「ワクワクアクア」、入江崎水処理センターの視察

※モンゴル建築都市開発省建設開発センター（CDC）：2012年にモンゴル政府によって設立され、主な業務として建設、公益事業、技術者の訓練、投資等を行っている

（1）モンゴル都市建設開発センターとのビジネスマッチングの開催

プレゼンテーション①

日本スレッド株式会社

プレゼンテーション②

株式会社建設技研インターナショナル

プレゼンテーション③

前澤工業株式会社

施設視察

広報施設「ワクワクアクア」の視察

（2）かわさき水・環境ビジネス海外展開セミナーの開催

✓ 川崎市が2019年7月に「SDGs未来都市」に認定されたことを踏まえ、今後もSDGsの達成に寄与すべく取組みを進めていくため、「SDGsとビジネス」をテーマとし、かわさきグリーンイノベーションクラスターとの共催によりセミナーを開催

日程・会場	2020年2月13日（木）　カルッツかわさき中会議室1・2（川崎市川崎区富士見1-1-4）
参加者数	かわビズネット、クラスター会員含む約30名
内　容	**講演①** 「企業はいかにSDGsに取り組むべきか」（地球環境戦略研究機関（IGES）） **講演②** 「経済産業省における水ビジネス輸出政策について」（経済産業省） **講演③** 「水インフラ分野の海外展開について　～フィリピンでの上水供給コンセッション事業における質の高い水インフラ輸出の事例から～」（ECFA会員企業（株式会社長大））
	個別相談会

（２）かわさき水・環境ビジネス海外展開セミナーの開催

講演①

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES)

講演②

経済産業省

講演③

株式会社長大

海外展開
相談会

（3）会員への協力

①国土交通省 下水道技術海外実証事業（WOW TO JAPANプロジェクト）の実施

『クラウドGISを活用した下水管路情報データベースの整備・構築』

- ✓ 2020年2月4日（火）バンドン、2月5日（水）ジャカルタにてセミナーを開催し、実証した技術の有用性をアピール
- ✓ バンドンセミナーには、バンドン市水道公社、バンドン市役所などから14名が参加、ジャカルタセミナーには、インドネシア公共事業省、水道公社、地方都市のインフラ担当など約110名が参加

事業実施者	㈱インフォマティクス、川崎市上下水道局、㈱建設技研インターナショナルのJV
実証内容	インドネシア・バンドン市において、下水管路網に関わる情報をクラウドGISに取り込み、行政サービスの向上及び新規管路布設及び更新・メンテナンスを含む維持管理計画の策定に活用するための実証事業を行う
実施期間	2019年9月21日～2020年3月19日
活動	第2回渡航（システム説明・試用運用等／2019年9月～10月） 最終渡航（バンドン及びジャカルタでセミナーを開催／2020年2月）

（3）会員への協力

バンドンセミナー①（川崎市による講演）

バンドンセミナー②

ジャカルタセミナー①（川崎市による講演）

ジャカルタセミナー②

（4）会員への情報提供

メール配信による会員への情報提供（随時）

✓ 会員への情報提供回数：12回　※年間47回（2019年度）

≪内訳≫

■　セミナー・報告会等の開催案内（5件）

・川崎市主催（かわビズネットほか共催）「「かわさき水・環境ビジネス海外展開セミナー」の開催 」について

・川崎市ほか主催「環境総合研究所 環境セミナーの開催」について　ほか

■　関係省庁・団体の調査案件等の募集（4件）

・国土交通省 令和2年度下水道技術海外実証事業（WOW　TO　JAPAN）公募について

・経産省 令和2年度「質の高いインフラの海外展開に向けた事業実施可能性調査事業委託費（我が国企業によるインフラの海外展開促進調査事業）」に係る企画競争の公募

■　お知らせ（3件）

・セミナー開催報告の掲載について　ほか

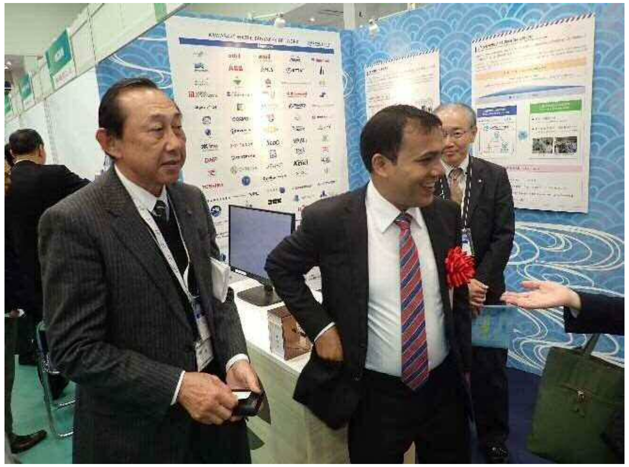
（5）海外への情報発信

①第12回　川崎国際環境技術展でのブース出展

- ✓ 2019年11月13日（水）、14日（木）に、カルッツかわさきで開催された川崎国際環境技術展（今回は「テクノトランスファーinかわさき」と同時開催）に、昨年に引き続きブースを出展
- ✓ 川崎市上下水道局と連続したかわビズネットブース（計3小間）において、海外からの来場者、日本の企業、市民等に対し、かわビズネットの活動や会員の製品・技術・サービス等を紹介
- ✓ カタログ配布について会員へ募集を実施　⇒　希望のあった会員のカタログを配布（12社）
- ✓ 『かわビズネット事業紹介カタログ』の配布及び『かわビズネット紹介プロモーションビデオ』の放映により、かわビズネットをPR

かわビズネットの展示ブース

かわビズネットの活動をPR


金子事業管理者のブース対応

（5）海外への情報発信

②「ラオス－日本水道＆MaWaSU2カンファレンス2020」でのPR実施

- ✓ JICA・ラオス「水道事業運営能力向上プロジェクト（MaWaSU2）」において、ラオスの水道関係者及び日本側の自治体・水道協会が集まり、MaWaSU2の活動の進捗・成果の周知を図るとともに、活動に対するフィードバックを得ることを目的としたカンファレンスが開催
- ✓ カンファレンスにおける講演の一部で、川崎市がかわビズネットのPRを実施
- ✓ また、厚生労働省主催の民間企業のラオス進出に向けたカンファレンスと合同開催したことで、かわビズネットの会員企業6社も参加
- ✓ （発表順）㈱トーケミ、㈱タブチ、フジテコム㈱、水道テクニカルサービス㈱、日立造船㈱、㈱日水コンが企業プレゼンを実施

概　要	
開催日	2020年1月28日~30日
会　場	ラオプラザホテルほか
出席者数	約200名（うち日本側は約50名）

川崎市による講演

（5）海外への情報発信

③Smart City Conference with JASCA※1 in Makassarでのブース出展

- 2020年2月27日（木）、インドネシア・マカッサル市において、政府と民間セクターの関係を強化し、スマートシティ※2プロジェクトを推進することを目的としたカンファレンスが開催
- 今後、草の根技術協力事業を実施予定で川崎市上下水道局とも関係性が深いことから、カンファレンス内でブースを出展し、かわビズネットの活動や会員企業の紹介等を実施

※1JASCA　・・・　日ASEANスマートシティ・ネットワーク官民協議会

※2 スマートシティ　・・・　都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体の最適化が図られる持続可能の都市または地区

カンファレンス会場

川崎市上下水道局の展示ブース

(5)海外への情報発信

④海外からの研修生・視察者の受入機会を通じたかわビズネットPR

✓ 海外からの視察者・研修生の受入を通じて、かわビズネットのPRを実施

≪受入実績≫	下半期(2019年11月～2020年3月)	年間(2019年4月～2020年3月)
総　数	20の国・地域、52名	29の国・地域、128名
研修生	13の国・地域、22名	20の国・地域、46名
視察者	9の国・地域、30名	14の国・地域、82名
国・地域	モンゴル(15)、インド(5)、インドネシア(4)、中国(3)　ほか	中国(22)、ラオス(19)、モンゴル(15)、パプアニューギニア(10)　ほか

バンドン市職員による入江崎水処理センターの視察

JICA研修生による長沢浄水場の視察

（6）その他

①JICA／中小企業・SDGsビジネス支援事業

- ✓ JICAと提案者（株式会社ベルテクノ）との契約に向けた調整・支援を実施

②会員との個別ヒアリング

- ✓ 川崎市内の中小企業2社を対象とし、新たな案件形成に向けて、海外展開に関する活動やシーズについてヒアリングを実施

川崎市に関する取組

③JICA・ラオス「水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU2）」への職員派遣

- ✓ 職員派遣期間（長期専門家）：2018年5月21日（月）から2020年5月20日（水）
- ✓ 職員派遣期間（短期専門家）：2019年9月16日（月）から12月14日（土）

④マカッサル市でのJICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）

- ✓ 会議議事録（ミニッツ（MoM））へインドネシア側が署名（2019年12月）
- ✓ JICAと川崎市で契約交渉を実施

⑤バンドン市でのJICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）

- ✓ 現地関係者と会議議事録（ミニッツ（MoM））署名に向けた調整を実施

２ 会員の入退会の報告

（1） 入退会の報告

（1）入退会の報告

- かわビズネットは、海外展開に意欲のある企業・団体が集まり、機動的に取組を行うことが設立の趣旨

2020年4月1日時点 ……会員数82　協力団体13

※ 2019年11月～2020年3月に入会した会員

- なし

※2019年11月～2020年3月に退会した会員

- エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジ株式会社　（2020年　3月31日退会）

3　2020年度の活動計画について

（1）　2020年度かわビズネット組織体制

（2）　インドネシアに関する活動

（3）　ラオスに関する活動

（4）　会員への協力

（5）　会員への情報提供・海外への情報発信

（6）　その他（かわビズネットレビュー、ホームページのリニューアル）

はじめに

新型コロナウイルスの影響により、2020年度の活動計画における以下のJICA案件は事務手続や活動等を一時中断しております（2020年4月1日から5月28日現在まで）。JICAと協議の上、社会情勢を見極めながら順次再開する予定であることをあらかじめご了承ください。

- (2)インドネシアに関する活動

  ・①マカッサル市でのJICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）

  ・②バンドン市でのJICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）

- (3)ラオスに関する活動

  ・「水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU2）」

- (4)会員への協力

  ・JICA／中小企業・SDGsビジネス支援事業

はじめに

また、当局が主体となって活動をする、『（5）会員への情報提供・海外への情報発信』の以下の項目におきましても、2020年度は新型コロナウイルスの影響を見極めながら実施する予定であることを併せてご了承ください。JICA案件とともに、各ページにできる限り“現況と今後の予定”を記載していますので参考にしていただければと思います。

➢ <u>（5）会員への情報提供・海外への情報発信</u>

・① 会員間等のネットワーク強化に向けた機会の創出

・③ 第13回 川崎国際環境技術展でのブース出展

・④ 海外からの研修生・視察者の受入機会を通じたかわビズネットPR

・⑤広報施設（「水とかがやく未来館」「ワクワクアクア」）内の「かわビズネットコーナー」での情報発信

はじめに【参考】

活動計画の主な対象国における現時点（2020年5月26日）での新型コロナウイルスに関する情報は、下表のとおりとなります。

	インドネシア	ラオス	ベトナム
外務省感染症危険情報	レベル3 （渡航中止勧告）	レベル2 （不要不急の渡航は止めてください）	レベル3 （渡航中止勧告）
日本からの渡航者に対する主な措置※1	外国人の入国及びトランジットを原則禁止。例外として、一時滞在許可（KITAS）・定住許可（KITAP）を保持する外国人、外交・公用査証保持者、医療・食料関係者等は①各国保健当局が発行した英文の健康証明書所持②新型コロナウィルス非感染地域での過去14日間以上の滞在③インドネシア政府が実施する14日間の隔離を受ける宣言で入国許可。	国際・地域・慣習国境事務所における一般人の出入国を禁止。必須な各種重要事業に従事し、入国の必要がある外国人専門家、技術者及び労働者への査証発給を除き、新型コロナウィルス流行国から渡航する一般人に対しては、全ての種類の査証発給を停止。入国者は①渡航前：ラオス外務省から入国許可を得た上で在外のラオス大使館等で査証を取得②到着時：所定の健康申告書及び出発72時間以内に信頼できる医療機関で発行された新型コロナウイルス陰性証明書提出が義務。	全ての国・地域からの外国人の入国を停止。（但し、外交旅券・公用旅券所持者・その他特別な場合（①重要な外交活動②専門家、企業管理者、高技能労働者等）は、必要であれば査証を発給。在ベトナムの各代表機関が、医療観察を実施する形をとる。さらに、②は、居住国の権限ある陰性証明書の提示及びベトナム政府の承認が必要。）
感染者数※2	23,165名	19名	327名
死亡者数※2	1,418名	0名	0名

※1外務省海外安全ホームページ内新型コロナウイルス関連情報より一部抜粋　※2Johns Hopkins University ホームページの掲載値を引用

(1)2020年度かわビズネット組織体制(4月1日現在)

- **役員**:変更なし

※ 会長:小泉明 東京都立大学都市環境学部特任教授、特別顧問:川崎市長、川崎商工会議所会頭

- **82会員・13協力団体**が参画

※ 詳細は、本資料『2　会員の入退会報告について』を参照

- **幹事会員**:変更なし

※ ㈱伊藤忠商事㈱、川崎商工会議所、JFEエンジニアリング㈱、東芝インフラシステムズ㈱、㈱みずほ銀行、
㈱横浜銀行、川崎市

- **事務局**:川崎市上下水道局(下表のとおり)

職　名	2020.3.31まで	2020.4.1から
川崎市上下水道局経営管理部長	山本　昇二	山本　昇二(変更なし)
川崎市上下水道局経営管理部 経営企画課担当課長	坂手　博	坂手　博(変更なし)
川崎市上下水道局経営管理部 経営企画課担当係長	越智　龍太	越智　龍太(変更なし)
川崎市上下水道局経営管理部 経営企画課担当係長	―	中村　典昭
川崎市上下水道局経営管理部 経営企画課主任	矢尾谷　和為	矢尾谷　和為(変更なし)

（2）インドネシアに関する活動

①マカッサル市でのJICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）

案件名	マカッサル市における地下漏水対策実行能力向上プロジェクト － 水資源の有効利用に向けて －
実施年度	2020年度～2023年度（3年間）
事業目標 （アウトプット）	（1）パイロットエリアにおける地下漏水調査計画の作成支援、地下漏水調査及び漏水修理工事の実行支援 （2）マカッサル市水道公社職員の地下漏水発見能力の向上支援 （3）マカッサル市水道公社職員の漏水修理技術の向上支援 （4）本事業の活動成果及び漏水防止に関する技術の共有・普及支援
実施体制	川崎市上下水道局・かわビズネット会員企業

マカッサル市の位置

無収水対策の実施現場

～現況と今後の予定～

・ミニッツ（MoM）などインドネシア国内での手続きは終了しているが、JICAとの契約交渉が中断

・JICAとの契約締結後は、概ね3ヶ月後を目途にキックオフセミナー等の現地での活動を予定

（2）インドネシアに関する活動

②バンドン市でのJICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）

案件名	バンドン市における水環境改善のための人材育成プロジェクト
実施年度	2020年度～2023年度（3年間）
事業目標（アウトプット）	バンドン市において水環境改善への住民啓発に関する知識を備えた人材が育成される （1）水環境に対する啓発資料が作成される （2）下水道研修テキストが作成される （3）下水道セミナー、下水道の役割を体感するワークショップが開催される （4）日本の技術・製品への理解が深まる
実施体制	川崎市上下水道局・かわビズネット会員企業

バンドン市の位置

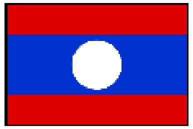
バンドン市内の河川

～現況と今後の予定～

・ミニッツ（MoM）の内容や署名機関等についてインドネシア国内の関係機関と調整中

・メール等で調整を図り、最終的には現地渡航を経てMoMの内容を決定し、JICAとの契約交渉を実施予定

（3）ラオスに関する活動



ラオスでのJICA技術協力プロジェクト
「水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU2）」

- ✓ 2018年度より開始した「水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU2）」に、今年度も継続して参画
- ✓ 今年度の職員派遣は、引続き長期専門家1名、短期専門家に関しては2名程度を予定

【プロジェクトの概要等】

≪期間≫　2018年5月から5年間

≪目的≫　ラオス国の国家目標達成に向けて、水道セクター管理体制と水道公社の水道事業能力を強化するために必要な基盤を整備する

≪職員派遣≫　長期専門家（サブチーフリーダー）及び短期専門家の派遣

≪その他≫　埼玉県、さいたま市、横浜市、川崎市及びJICAによりプロジェクト実施に関する協定を締結

カムアン県におけるOJT

～現況と今後の予定～

・JICAの全体方針により、長期専門家は業務一時帰国措置中のため、日本国内でプロジェクト活動を実施中

・また短期専門家は、一斉帰国（海外への渡航原則禁止）措置のため、当面の間（上半期は決定）派遣は延期

・今後のJICAの方針を踏まえ、長期・短期専門家の派遣は継続して実施

(4)会員への協力

会員企業の各種スキームに対する活動のサポート

① JICA／中小企業・SDGsビジネス支援事業

- ✓ 株式会社ベルテクノが提案したベトナムにおける案件化調査が2019年8月に採択。外部人材として会員企業(1社)と川崎市が協力予定

～現況と今後の予定～ ・2019年度中に契約予定であったが、JICAの方針により契約交渉を一時中断 ・JICAとの契約後は、約1年間の事業を予定している

② 国土交通省／下水道技術海外実証事業(WOW TO JAPANプロジェクト)

- ✓ 株式会社インフォマティクス・川崎市・株式会社建設技研インターナショナルがJVを組み、2019年9月～2020年3月の期間中インドネシアで事業を実施

- ✓ 2020年度はフォローアップとして、業界誌へ事業の取組内容を寄稿、第三者委員会(国交省)への事業結果の報告、現地水道公社とのパイプ役等を実施予定

（5）会員への情報提供・海外への情報発信

① 会員間等のネットワーク強化に向けた機会の創出

✓ 海外水ビジネスの契機となるセミナーや会員間等のネットワーク強化に向けた取組を実施

～今後の予定～
・情勢を見極め、セミナー等が開催できるよう検討のうえで実施予定

② メール配信等による情報の提供

✓ メール配信やかわビズネット会員専用ホームページ等により、情報を随時提供

③ 第13回 川崎国際環境技術展でのPR

✓ 2020年11月上～中旬にカルッツかわさき（川崎市スポーツ・文化総合センター）で開催予定の「第13回 川崎国際環境技術展」において、かわビズネットのPRを実施

～今後の予定～
・ 川崎国際環境技術展が開催されない場合もブース出展に代わるかわビズネットPRを実施予定

④ 海外からの研修生・視察者の受入機会を通じたかわビズネットPR

✓ 海外からの研修生・視察者の受入を通じて、かわビズネットのPRを実施する

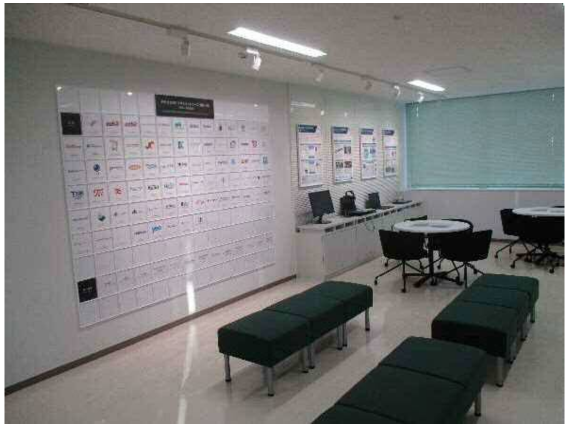
～今後の予定～
・現在、上下水道局施設の受入を中止しているが、再開後は情勢を見極め順次実施予定

（5）会員への情報提供・海外への情報発信

⑤広報施設内「かわビズネットコーナー」での情報発信

- ✓ 長沢浄水場広報施設「水とかがやく未来館」、入江崎水処理センター広報施設「ワクワクアクア」内における「かわビズネットコーナー」でPRを実施
- ✓ 「水とかがやく未来館」：大型モニター（コンテンツ・PV）や企業展示による「かわビズネット」紹介、企業展示は4社（アズビル金門㈱、JFEエンジニアリング㈱、東芝インフラシステムズ㈱、フジテコム（株））
- ✓ 「ワクワクアクア」：大型モニター（コンテンツ・PV）、会員紹介グラフィックパネル、海外視察者からの贈答品、企業展示4社（㈱インフォマティクス、JFEエンジニアリング㈱、東芝インフラシステムズ㈱、（株）日本海水）

水とかがやく未来館



ワクワクアクア

～現況と今後の予定～

・現時点で両施設とも受入は中止。また、例年6月に企業展示の入替を実施するが、今年度は入替を見送り

・両施設とも受入再開後は、情勢を見極めながら海外からの視察者等の受入を実施し、かわビズネットコーナーでのPRを実施予定

(6)その他(かわビズネットレビュー、ホームページのリニューアル)

①かわビズネットのレビューについて

- ✓ かわビズネット設立3年後(2015年)にレビューを実施してから5年が経過したことから、現時点までの活動をレビューし今後のかわビズネットの活動に反映するため意向調査・評価・分析等を今年度中に実施
- ✓ 評価・分析には、会員企業へアンケートなどを実施し、会員企業の意向を反映させたうえで、来年度以降の活動方針とする予定

②かわビズネットホームページのリニューアルについて

- ✓ ホームページ開設から7年が経過していることから、

①閲覧環境の変化等により対応ができない部分(スマートフォン版への対応等)に対して利便性を向上

②事務局側のメンテナンスの簡便化

等を目的に今年度中に一部リニューアルを予定

４「かわさき水ビジネスネットワーク2020年度総会」について

（1） 2020年度総会について

（2） 2019年度総会開催結果

(1)2020年度総会について

✓ **書面開催について**

2020年度総会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より書面開催を検討している

✓ **内容**

書面開催の内容は以下を予定している

≪議事≫（送付資料にて対応）

1. かわさき水ビジネスネットワーク2019年度の活動報告について
2. かわさき水ビジネスネットワーク2020年度の活動計画について

≪その他 参考として送付する資料≫

・かわさき水ビジネスネットワーク規約

・かわさき水ビジネスネットワーク会員・協力団体名簿

≪書面開催・審議期間≫

2020年7月（予定）

(2)2019年度総会開催結果

✓ 2019年度総会開催結果は以下のとおり

項　目		内　容
開催日時	総会	2019年7月19日(金)　16:00～17:30
	意見交換会	2019年7月19日(金)　17:45～19:00
開催場所	総会	川崎商工会議所　2階会議室　1･2･3･4
	意見交換会	川崎商工会議所　2階会議室　5･6
出席者		・ 役員　3名 ・ かわビズネット会員　49会員、77名 ・ 協力団体　8団体、12名 ・ オブザーバー　2団体、2名 ・ 報道各社
議事結果		・ 質疑･意見なし

（2）2019年度総会開催結果

✓ 2019年度総会次第は以下のとおり

1. 小泉会長挨拶
2. 藤倉川崎市副市長挨拶
3. 協力団体等の紹介（厚生労働省、経済産業省、国土交通省、JICA等）
4. 議事
   ① 会則について（事務局）
   ② 2018年度の活動報告について（事務局）
   ③ 2019年度の活動計画について（事務局）
5. プレゼンテーション
   ① 「インフラ分野の海外ビジネス展開とジェトロの支援について」
   （独立行政法人日本貿易振興機構ビジネス展開・人材支援部　主幹　水野 大輔　氏）
   ② 「東南アジアへの貿易投資促進に向けた日本アセアンセンターの取り組み」
   （東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター調査・政策分析クラスター
   　プログラムマネージャー　齋藤　美穂子　氏）
5. 閉会

令和２年度第１回かわさき水ビジネスネットワーク幹事会　意見書

（提出先）　かわさき水ビジネスネットワーク事務局　矢尾谷
（川崎市上下水道局経営管理部経営企画課〔国際事業推進〕）
電話：200-317389　mail：yaotani-k@city.kawasaki.jp

【会社名　　　　　　　　　　　】

幹事会資料		意見等
１	２０１９年度（１１月～３月）の活動報告について	□意見なし ご意見等ございましたらこちらにご記入ください。
２	会員の入退会の報告	□意見なし ご意見等ございましたらこちらにご記入ください。
３	２０２０年度の活動計画について	□意見なし ご意見等ございましたらこちらにご記入ください。
４	「かわさき水ビジネスネットワーク２０２０年度総会」について	総会の開催方法について、どのようにお考えでしょうか。 □書面での開催が妥当 □会場での開催が妥当 □時期を延期し会場での開催が妥当 理由、ご意見等ございましたらこちらにご記入ください。
その他全体を通してご意見等ございましたらこちらにご記入ください。		

＊ 令和２年６月４日（木）までに、メール等にて事務局までご提出願います。

2020年4月1日現在

かわさき水ビジネスネットワーク　会員名簿

（五十音順）

1	アクア・ゼスト株式会社	42	株式会社タブチ
2	アズビル株式会社	43	月島機械株式会社
3	アズビル金門株式会社	44	株式会社ＴＥＣインターナショナル
4	伊藤忠商事株式会社	45	テスコ株式会社
5	株式会社インフォマティクス	46	デノラ・ペルメレック株式会社
6	株式会社エイアイティ	47	株式会社デバイス＆システム・プラットフォーム開発センター
7	ＡＢＢ日本ベーレー株式会社	48	東京計器株式会社
8	株式会社エヌジェーエス・コンサルタンツ	49	東西化学産業株式会社
9	エリーパワー株式会社	50	東芝インフラシステムズ株式会社
10	株式会社オオスミ	51	株式会社トーケミ
11	株式会社大林組	52	有限責任監査法人トーマツ
12	株式会社オスモ	53	ニッコー株式会社
13	オリジナル設計株式会社	54	株式会社日水コン
14	KAORI INTERNATIONAL JAPAN株式会社	55	日本鋳鉄管株式会社
15	鹿島建設株式会社	56	日本電気株式会社
16	一般社団法人川崎建設業協会	57	株式会社日本海水
17	川崎市管工事業協同組合	58	日本原料株式会社
18	川崎重工業株式会社	59	日本工営株式会社
19	川崎商工会議所	60	日本水工設計株式会社
20	株式会社環境向学	61	日本スレッド株式会社
21	株式会社木村工業	62	日本テクノ株式会社
22	株式会社グッドマン	63	日本ベーシック株式会社
23	株式会社栗本鐵工所	64	日本ミクニヤ株式会社
24	株式会社建設技研インターナショナル	65	株式会社浜銀総合研究所
25	株式会社研電社	66	株式会社日立製作所
26	コスモ工機株式会社	67	日立造船株式会社
27	株式会社サーモグラファー	68	富士通株式会社
28	三信建設工業株式会社	69	フジテコム株式会社
29	サンユレック株式会社	70	富士電機株式会社
30	ＪＦＥエンジニアリング株式会社	71	富士・フォイトハイドロ株式会社
31	株式会社ジオプラン・ナムテック	72	株式会社ベルテクノ
32	株式会社ショウエイ	73	前澤工業株式会社
33	昭和電工株式会社	74	株式会社みずほ銀行
34	水道テクニカルサービス株式会社	75	株式会社三井住友銀行
35	水ｉｎｇエンジニアリング株式会社	76	三菱化工機株式会社
36	有限会社 SKY-FIX COM JAPAN	77	株式会社三菱ＵＦＪ銀行
37	須藤工業株式会社	78	八千代エンジニヤリング株式会社
38	積水化学工業株式会社	79	横河ソリューションサービス株式会社
39	第一環境アクア株式会社	80	株式会社横浜銀行
40	第一高周波工業株式会社	81	株式会社和興計測
41	大成機工株式会社	82	川崎市

2020年4月1日現在

かわさき水ビジネスネットワーク　協力団体名簿

関係省庁	1	厚生労働省
	2	経済産業省
	3	国土交通省
関係団体	4	独立行政法人国際協力機構
	5	株式会社国際協力銀行
	6	公益社団法人日本水道協会
	7	独立行政法人日本貿易振興機構横浜貿易情報センター
	8	公益社団法人日本下水道協会
	9	公益財団法人川崎市産業振興財団
	10	国際連合工業開発機関
	11	東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター
外国自治体	12	ダナン駐日代表部
	13	クィーンズランド州政府駐日事務所

かわさき水ビジネスネットワーク規約

（名称）

第１条　本会の名称は、「かわさき水ビジネスネットワーク」（以下「かわビズネット」という。）とする。

（目的）

第２条　かわビズネットは、世界の水環境改善に貢献するため、民間企業と川崎市が連携、協調して水ビジネスを推進するプラットフォームである。

（会員）

第３条　かわビズネットは、前条に賛同する会員をもって構成する。

２　かわビズネットに新たに入会しようとする者は、別に定める会員申込書を事務局あてに提出し、幹事の承認を得なければならない。

３　以下の各号に該当する場合は、幹事の承認を得たのち会員の資格を喪失する。

（１）事務局と連絡が取れなくなったとき。

（２）暴力団、暴力団関係企業・団体その他の反社会的組織に所属する場合及び暴力団員又はこれらと密接な関係を有する者と関係していると合理的に判断されるとき。

（３）その他、かわビズネットの信頼を失墜させる行為を行ったとき。

４　会員は、退会届を事務局に提出し、任意に退会することができる。

（役員）

第４条　かわビズネットに、役員として会長、特別顧問及び幹事を置く。

２　会長は、かわビズネットの代表として、会務を総理する。

３　特別顧問には、川崎市長及び川崎商工会議所会頭を充て、かわビズネットに助言等を行う。

４　かわビズネットの運営を主導するため、会員の中から若干名の幹事を置く。

（協力団体）

第５条　かわビズネットの活動に協力する省庁及び団体を「協力団体」とする。

（総会）

第６条　会員、協力団体等の意思疎通を図り、交流を深めるとともに、次に掲げる事項を決定するため、総会を開催する。

（１）規約の改廃に関すること。

（２）役員の選任に関すること。

（３）その他かわビズネットの運営に係る重要事項に関すること。

２　総会は、会長が招集し、過半数の会員の出席をもって成立する。

３　総会の議事は、出席した会員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

（幹事会）

第７条　幹事により幹事会を組織し、かわビズネットの運営に関する基本的な事項の検討及び調整等を行う。

（機能）

第８条　全体サポートとして、会員に向けた水ビジネスに関する情報の提供等を行う。

２　個別サポートとして、水ビジネスの案件に応じてコーディネート等の必要な支援を行う。

（会費）

第９条　かわビズネットの会費については、当面の間無料とする。

（事務局）

第１０条　かわビズネットの事務局を川崎市上下水道局に置く。

（その他）

第１１条　この規約に定めるもののほか、かわビズネットに関し必要な事項は、会長が別に定める。

附　則

１　この規約は、令和元年７月１９日から施行する。

２　かわさき水ビジネスネットワーク会則（平成２４年８月２７日施行）は、廃止する。